

市報うんなん Unnan

1

2026 No.254

特集

年頭のごあいさつ (2ページ)

民生委員・児童委員、主任児童委員の改選 (4ページ)

今月の表紙：第3回雲南市長杯チャレンジソフトボール大会



Instagram で
市の魅力を発信中！

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、令和8年の初春を迎えたこと、心からお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、全国高等学校総合体育大会レスリング競技大会の開催やビジネスホテルの開業、プレミアムツヤ姫「たら焰米」の過去最大の収量確保など、市民の皆様の力強いご協力のもと、雲南省の歩みを着実に進めることができました。

特に、新たに策定した「第3次雲南省総合計画」の基本理念である「変わらず、変える」のもと、「えすこな雲南省」みんなが幸せに暮らせるまちの実現に向け、次の10年を見据えた具体的な取り組みが本格的にスタートいたしました。

令和8年は、国道54号三刀屋拡幅事業や、大東公園多目的広場（サッカーフィールド）、道の駅さくらの里きすきの改修が完成し、新しいまちで、皆様方の温かいご支援、ご指導を賜り厚く御礼申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、ご家族お揃いで清々しい新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。また、平素より雲南省議会に対しまして、皆様方の温かいご支援、ご指導を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、物価高騰への対策、特に全国的に米不足による価格高騰が重なりました。国は短期的な対策として政府備蓄米の放出や外国産米の輸入などにより対応しましたが、今後は、長期的な視点に立った多角的な対策が急務であり、市議会としても対策を加速させる必要があると考えます。

本市においては、コウノトリが市内で9年連続でふ化をし、過去最多の8羽が巣立ち、生息数も増加し、コウノトリの繁殖地として安定したものと思われます。また、市内での営巣が本年で10年を迎えることから、コウノトリの「市の鳥」への指定に向け、講演会の開催などが行われております。これもひとえに、市民の皆様が、日頃より温かく見守ってくださり、また豊

ちの姿が見えていきますが、市民本位の行政運営に努め、これまでの取り組みをさらに加速させる年にしてまいります。

木次線については、観光列車「あめつち」が沿線地域の皆様のご協力により堅調な運行がなされております。今後も「一両列車の聖地 木次線」として情報発信や周遊観光に引き続き取り組み、利用促進に努めてまいります。

UIターン施策や住宅施策も引き続き積極的に展開し、特に市内高校生を含む若い人材の都市部からの還流を促進し、将来にわたり雲南省を支える人財の育成にも注力してまいります。

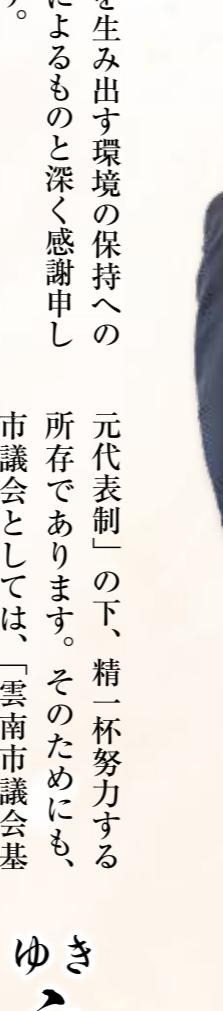
雲南省の食を支える農業が持続可能なものとなるよう取り組みを進めています。雲南加茂スマートインターチェンジのアクセスの良さを強みとした神原企業団地の整備も着実に進捗しています。ま

令和8年は、十二支は「午年」で、物事が勢いよく順調に進み、着実に成長・発展していく年であると言わせております。

令和8年の十二支は「午年」で、物事が勢いよく順調に進み、着実に成長・発展していく年であると言わせております。

新しい年を迎え、自然環境やたら製鉄などの歴史文化、先人の知恵、関係人口などのあらゆる資源を生かす「総動」により、力強くまちづくりを進めてまいります。ので、変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様のご健勝とご多幸を心からお祈りし、年頭のごあいさつといたします。



元代表制」の下、精一杯努力する所存であります。そのためにも、市議会としては、「雲南省議会基本条例」に則り、公平性や透明性を確保し、開かれた議会運営を行つてまいります。また、「雲南省議会ハラスメント根絶条例」の制定により、議員および議会としての役割を十分發揮するため、互いに人格、人権を尊重し、相互の理解を深めてまいります。市民の皆様の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年の干支は「丙午」であり、「勢いよく前進する年」とも言われております。本市がこの干支の力強さになりますよう、ますます発展する年として素晴らしい1年になりますことを心よりお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

本年度より第3次雲南省総合計画が「えすこな雲南省」を将来像として掲げ、「変わらず、変える」を基本理念に持続可能なまちづくりへ向けて進みだしました。本市

課題解決に向け、市長と議会の「二

雲南省議会議長

志と飛石厚い

民生委員・児童委員

主任児童委員の改選

どんな活動をしていますか

12月1日(月)、この度退任された59人の民生委員・児童委員および主任児童委員(以下、民生児童委員)への感謝状贈呈と、12月1日付けで委嘱状伝達を本次経渎文化会館エリザベスホールで行いました。



▲代表して誓いの言葉を述べる陶山保子さん(三刀屋町)

条、「児童憲章(前文)」を読み上げた後、「社会奉仕の精神をもつて、常に住民の立場に立つて相談に応じ、必要な援助を行うことを約束します」と誓いの言葉を述べました。

民生委員は、民生委員法に規定された非常勤の特別職の地方公務員で、児童福祉法に定める児童委員を兼ねることとされています。また、活動の対価としての報酬はなく、ボランティアとして活動しています(ただし、交通や通信に係る必要な活動費は支給されています)。

こうした民生児童委員の具体的な活動内容は次のとおりです。

5. 調整

民生児童委員は、地域福祉の担い手として、住民個々の相談に応じ、その生活課題の解決に向け、幅広い活動を行っています。地域の実情を踏まえ、地域福祉の増進に取り組んでいます。

こうした民生児童委員の具体的な活動内容は次のとおりです。

6. 生活支援

民生児童委員は、地域住民が抱える課題について、相手の立場に立ち、親身になって相談に応じます。

住民が求める生活支援活動を自ら行い、また支援体制をつくっています。

7. 意見具申

民生児童委員は、法に基づく守秘義務があり、相談内容の秘密は守られます。生活上の困り事や心配事などがありましたら、担当地区の民生児童委員に気軽にご相談ください。

民生児童委員には、法に基づく守秘義務があり、相談内容の秘密は守られます。生活上の困り事や心配事などがありましたら、担当地区の民生児童委員に気軽にご相談ください。

2. 相談

担当区域の住民の実態や福祉ニーズを日常的に把握します。

3. 情報提供

地域住民が抱える課題について、相手の立場に立ち、親身になって相談に応じます。

4. 連絡通報

社会福祉の制度やサービスについて、その内容や情報を住民に的確に提供します。

これまでありがとうございました

民生委員・児童委員 退任者

(敬称略)

町名	氏名
大東町	佐藤 安政
	鳥谷 祐子
	西村 武
	郷原 澄子
	野々村光子
	佐々木睦美
	檍原 和雄
	山崎 道雄
	鶴原 憲治
	安部 厚雄
	春木 英文
	佐藤 祐治
	朝日 照男
	経種 行義
	錦織 堅
	岩田 泰成
	長崎 正
	杉谷 純子
	加藤 敏子
	白根 茂
	永井 佳男
	毛利 知子
	影山 敏雄
	多田納崇道
	中西 茂敏
	熱田 伸一

町名	氏名
木次町	周藤 広和
	鳥田 静香
	梅木 泰孝
	須田 榮子
	堀内 結子
	小川 鑑
	多根 章生
	室下 茂安
	川角アキヨ
	福間 正道
	小川 文子
	廣田 義生
	勝部 俊治
	福間美紀江
	高尾 勲
吉田町	三嶋 恭子
	大島 啓史
	米原 伸子
	清水 京子
	白菊 真二
	板垣ひとみ
	小影 浩雄
	白築久美子
	奈須 宏史
	三浦 ひとし
	小田草 茂

主任児童委員 退任者

(敬称略)

町名	氏名
大東町	西村 とし
加茂町	田中 敬子
木次町	周藤 正己

町名	氏名
三刀屋町	中村 七郎
	富田 真樹
吉田町	吉長 寿子
掛合町	石飛由美子

スを得られるよう、関係行政機関、施設、団体などに連絡し、必要な対応を促す「つなぎ役」としての役割を果たします。

民生児童委員は、地域福祉の担い手として、住民個々の相談に応じ、その生活課題の解決に向け、幅広い活動を行っています。地域の実情を踏まえ、地域福祉の増進に取り組んでいます。

こうした民生児童委員の具体的な活動内容は次のとおりです。

民生児童委員は、地域福祉ニーズに対する対応として、住民の福祉ニーズに対する対応として活動しています。また、活動のランティアとして活動しています(ただし、交通や通信に係る必要な活動費は支給されています)。

こうした民生児童委員の具体的な活動内容は次のとおりです。

民生委員・児童委員とは

民生委員・児童委員 委嘱者

任期：令和7年12月1日～令和10年11月30日

町名	担当区域	氏名	担当区域	氏名
木次町	中組、共和	あごうまりこ 吾郷真理子	本谷上、本谷中、本谷下、中谷上、中谷下	ためいし 鶴石 勝美
	朝日、促進東住宅、朝日が丘	たなべみとし 田部 美樹	芦原、瀬の谷、引野、大島	かきのき 柿木 啓子
	北側、上口、浜谷	たかはし ○高橋 一	久の元、水谷、能間、案内、さくら	すどう 周藤 光則
	東大谷、天殿、小川上	かげやま 景山 京子	吉井上、吉井下、中の段1、中の段2、正理	まばやし 松林 智照
	坂本口、万場、東日登団地	むらお 村尾 浩一	むらお 村尾 富義	むらお 村尾
	川上上、川上下、大川上、大川下、駅前	いたもち 板持 浩美	東、前側、漆仁	にしむら 西村 謙一
	新殿、古殿、井戸、上宇山、下宇山、城角	おおさか 大坂美恵子	門、野谷、石、山方、尾原	かめやま 龜山 真一

町名	担当区域	氏名	担当区域	氏名
三刀屋町	五反田、溝谷、成畑、上萱原、上萱原2、上萱原3、西の原団地1、西の原団地2	ひろさわ 廣澤 正樹	上ノ段1、上ノ段2、市場、堺	こばやし 小林 功
	萱原住宅、下萱原上、横町上、横町、畠ヶ中、上町上、上町下、コボバリ	おおまえ 大前 裕子	上口1、上口2、中口、飯石森谷、大倉	わたなべ 渡部 敦正
	下萱原中、中町1、中町2、中町3、中町4、下町1、下町2	わだ 和田 克哉	多久和下口、粟谷郷、粟谷谷	そのやま 園山 嘉則
	駅前1、駅前2、旭町1、旭町2、旭町若者住宅	やすま 陶山 保子	上乙多田上、上乙多田下、下乙多田、坂本郷、南側、桧杉谷	なばら 名原 佳宏
	三谷、地王、基町、東町	たにぐち 谷口 静香	鳥目楨原、深谷上、深谷下、加食田郷、粟原、禪定	たにやま 谷山 正樹
	下熊谷、梅が丘、高校住宅、三刀屋団地1、三刀屋団地2	なばら 名原みや子	宮内、殿河内上、殿河内中、殿河内下、太田、明石、御城山、成木下津原	たにと 谷戸 耕次
	上給下、宮谷、上給下団地	のりもと 乗本 基江	作り石、前根波中、前根波下、後根波	いしとびす 石飛寿実夫
	中給下、八幡、峯寺馬場	ふじはら 藤原ヒロコ	里坊畑、里坊郷上、里坊郷下、里坊後	いいつか 飯塚 裕司
	若宮、伊萱上、伊萱寺谷、伊萱下谷	ひろた 廣田 俊之	神代、六重上、六重中、六重下	ふかだ 深田 裕子
	後谷上、後谷下、屋内上、屋内東、屋内西、大谷	もりやま 森山千代美	紙屋、堂々、宮畑	たが ○多賀 静香
	前谷、古城後谷、古城下口、尾崎上、尾崎下、古城若者住宅、古城住宅、城北、大門町	まつむら 松村 享江	須所上、須所下、坂本森谷、中野下谷	しながわ 品川 嶽

町名	担当区域	氏名	担当区域	氏名
吉田町	芦谷、杉戸、梅木、川原町（瑞光団地）	ふじはら 藤原 文雄	川原町（瑞光団地除く）	わたなべせつお 渡世津夫
	菅谷、高殿、川尻	たなべ ○田部 浩二	曾木、上山	やまだ 山田 孝
	大吉田、上町、下町	かじつた 梶戸 瑞恵	深野、川手	かつべ 勝部 康弘
	宇山、民谷	かげやま 影山 純子		

町名	担当区域	氏名	担当区域	氏名
掛合町	川上、井原谷、大向、平岩、平岩団地、穴見谷	もりやま 森山 修治	菅原、保関谷、大谷、矢谷、中組	しらつき 白築 真理子
	上町、中町、下町、タウンズイン下町、西側	いすみ 和泉美千代	下組、北迫、滝谷	いたがき 板垣 紘枝
	上佐中、下佐中、警察官住宅、下佐中教職員住宅	とくしま 徳島 未美	上刀根、下刀根、宮内、朝原、元上町、上町、タウンズイン波多	かげやま 景山 明美
	緑ヶ丘、緑ヶ丘団地、郡、中郡団地、下郡団地、郡教職員住宅	しらつき 白築 輝二	柄栗、郷、小原、成、田上、栄町、中町、新町	きむら 木村 昌実
	十日市、松尾、金原、大志戸、奥明、西谷	まつむら 松村 治香	本谷、宮崎、竹之尾八重滝、出来山	つぼくら 坪倉 史朗
	上多根、中多根、萱野	おむら ○小村 重美	寺谷、穴見	はたのまつみ 波多野増美
	舟津、下多根、志食、長迫	いしど 石飛 安弘		

主任児童委員 委嘱者

（敬称略）

担当区域	氏名	担当区域	氏名	担当区域	氏名
大東町内全域	とが 梅 多美子	木次町内全域	かのう 加納 謙高	ひの 日野 要枝	かのう 赤名 博巳
	ながせ 永瀬 美里		さとう 佐藤 文子	かなしま 大島 麻里	いなた 稻田ますみ
	かわしま 川島 朝子		ひじはら 藤原 一明	すぎやま 杉山千恵美	いなた 飯石 桂子
	いしど 石原 敬子		まつまえ 松前みゆき	かなやま 金山由美子	おおた 大田 和美
加茂町内全域	たかき 高木 裕子	三刀屋町内全域	おおたに 大谷 弘志	ほら 原 義廣	はら 原 義廣
	わくり 和久利清治		いいつか 飯塚 良治	ともつか 友塚 真	よしむか 昭和 紗子

民生委員・児童委員 委嘱者

任期：令和7年12月1日～令和10年11月30日

○印は各町単位の民生児童委員協議会会長

（敬称略）

町名	担当区域	氏名	担当区域	氏名
大東町	光、東町北、東町上、東町下、東町南	きしの 岸野 俊一	尾崎、郡家、山根口、大多和	あかな 赤名 秋夫
	上町、中町	おがわ 小川 久美	上原口、中原口、下原口、前原一、前原二	じょだい しげる 茂
	西本町、神田町、北町	ひろき 廣木 栄一	陰地、日南、峰、本郷、若木、師弟	めかだとみお 女鹿田 美夫
	南本町、本町、グランデ7	かりの 狩野 恒雄	川筋、後谷、神代、表佐世	あべ ゆうこ 安部 祐子
	西町	やまさき 山崎 敬子	杉谷、潤谷、狩山、城山	こだま 児玉 正明
	大木原	じょだい 上代 昇	中筋、原口、芹谷、グランデ6	あだち きよこ 定立 清子
	越戸、古城、織部	うちだ 内田 晴臣	免別、半戸、宮下、宮上	ふじはら 藤原 宏
	田中上、田中下、グランデ1、グランデ2、グランデ3	にった 新田 康二	清久上、清久下、東上、宮内、上市場、福富、メゾン阿用	すやま 陶山 隆之
	新庄西、新庄東、新庄南、グランデ4、グランデ5、よつば	かりの 狩野 保	明賀谷、中盛、下岡、川西、西の宮	ながせ 永瀬 康典
	新庄西、新庄東、新庄南、グランデ4、グランデ5、	いわさ 岩佐 倫男	横手谷、掛屋、三峠、柿の本	じょうだい こうじ 上代 浩治
	新田上、金成上、金成下	あべ 安部 喜作	太聖、日向、大井、長谷、下区	さとうみえこ 佐藤 美恵子
	泉谷、柿坂、ふれあいの丘	いしかわ 石川 陽治	上組、段原、中組、殿居敷、下組	うえだ 植田 孝憲
	駅前	あべ 安部 愛子	山王寺本郷、和野	ながい 永井 純子
	駅前	みじはら 藤原 陽子	薙沢、引坂	さとう 佐藤 要司
	上組、宮ノ下、中組、下組、メゾン春殖、向島	とや 鳥谷 芳雄	須賀、八所	やまね 山根 優
	横町、本町、上ヶ、馬田寺、山王、越前、針江	いだ 井田 满	北村、南村	もりやま 森山 とおり
	荒井町、城之越、馬場、高峰、松尾	にしやま 西山 雅美	飛石、温泉、中屋	そな 曾田 富代
	芦谷、鶴、畑	やまと 山本 浩二	小河内、刈畑	くろかわ 黒川 崇
	奥遠所、中遠所、下遠所	ながと 永戸 尚樹	塩田	かのう 加納 賢二
	宮ノ谷、宮内谷、西谷、中組、石井谷、下組	いしど 石飛 司	笹谷、箱淵	たかはし 高橋 悅子
	上組、上仁和寺、本岩根、中岩根、九量、西廻	たけだ 武田 正敏		

町名	担当区域	氏名	担当区域	氏名
加茂町	立原、近松	うちだ 内田 聰	松ノ前、神原東、神原西、メゾンエスポート	くさみず 草木 道裕
	南大西、飯の木、グラン加茂	もちだ 持田留美子	高見、愛宕	みやざこ 宮廻 誠
	北大西、上町、中町、本町、新町	あごう 吾郷 和枝	下神原、段部、岡	たのたの ○多田納 興
	旭町、栄町、外原町、コーポキフネ、ブライトハウス	あおき 青木 光男	大竹上、大竹下	なばやし 中林 直子
	東町、令和、前廻田、奥廻田、若月団地	こだま 小玉 登喜子	延野、大崎、猪尾	ほしな 保科 明永
	中村上、中村中、中村団地	たなか 田中 孝治	中山団地	まきわら 松林 静一郎
	加茂中団地、中村下、雲並、ドリームタウン、マイルストーン、プラティックKAMO、金丸	こうちゅう 孝忠 延夫	岩倉、畑、東谷北	かじたに 梶谷 須美

原子力防災訓練を実施

11月9日、島根原子力発電所での事故を想定した原子力防災訓練を三刀屋交流センターで実施し、地域住民52人が参加しました。訓練ではまず、原子力発電所の事故発生の連絡を受け、緊急速報（エリア）メールや防災無線などを用いた避難情報の伝達を行いました。続いて、放射性物質が放出されたとの想定で、参加者は安定ヨウ素剤の効果や服用方法に関する説明を受け、模擬薬の配布訓練などを行いました。また、原子力防災学習会も開催し、原子力災害時の対応や放射線防護の方法などを学びました。



▲安定ヨウ素剤の模擬薬配布の様子

第3回雲南市長杯チャレンジソフトボール大会

10月12日（男子の部）と11月15日（女子の部）の2日間、第3回雲南市長杯チャレンジソフトボール大会を三刀屋中学校で開催し、県内外から男女合わせて9チームが参加しました。

この大会は、順位を決めるのではなく、それぞれの選手が自分の目標に向かって「チャレンジする」ことが特徴です。雲南市は「2030島根かみあり国スポーツ」ソフトボール競技の開催地のひとつとして、競技力の向上だけでなく、スポーツを「する・みる・支える」を念頭に、地域一体となって盛り上げていきます。



▲ホームベースに滑り込む選手

第16回さくら英語スピーチコンテスト

11月16日、第16回さくら英語スピーチコンテストが雲南市国際文化交流協会の主催により木次経済文化会館チエリヴァホールで開催され、小学1年生から中学3年生まで21人が出場しました。

今回のコンテストは「私の住んでいる町を紹介します」というテーマで、各出場者は夏休み頃から、国際交流員や各学校の外国語指導助手の協力のもとスピーチの練習を重ねてきました。審査員を務めた島根大学の大谷みどり教授からは、「他の英語スピーチコンテストにはない温かい雰囲気がよかったです」と講評がありました。



▲スピーチを披露する出場者

斐伊小学校開校150周年記念式典

11月22日、斐伊小学校開校150周年記念式典が斐伊小学校開校150周年記念事業実行委員会（富田勇次実行委員長）主催により斐伊体育館で行われ、児童、保護者、地域の方など約400人が参加しました。

斐伊小学校は明治8年に開校しました。式典は学習発表会に併せて行われ、6年生は式典の司会進行も行いました。各学年の代表児童たちによるメッセージや全校児童の合唱「ありがとうの花」で、斐伊のよさや地域の方々への感謝の気持ちが伝えられました。



▲式典出席者に学習発表を披露する児童たち

外国人住民のための「ごみの種類・捨て方」講習会

11月2日、外国人住民対象の「ごみの種類・捨て方」講習会を雲南市役所で開催し、雲南市で生活するさまざまな国籍の技能実習生、特定技能外国人など25人が参加しました。

ごみの分別方法を確認する実習や、ごみの捨て方を日本語で質問する練習を行い、参加者からは「ごみの分別は難しいが講習は分かりやすかった」、「こういう講習会で学ぶ機会があると安心する」といった感想がありました。市では他にも外国人住民の皆さんのが安心して生活できるための勉強会やイベントを開催しています。



▲講習会の様子

児童が“味覚”を学習

「味覚の授業」®が加茂小学校で開催されました

11月6日、味わう楽しみや食文化と向き合う食育活動「味覚の一週間」®の「味覚の授業」®が、「味覚の一週間」®実行委員会島根県支部の主催により加茂小学校で開催され、5年生が参加しました。

授業では、Food Marico 上田まり子代表取締役と松江しんじ 湖温泉なにわ一水の板前 中野貴之さんが講師となり、児童たちは島根県産の食材や鰹節と昆布でとった和風だしなどを味見し、舌で感じる味や味と嗅覚の関わりについて学んだほか、講師の皆さんのが調理実演された料理を食べました。



▲説明を聞きながらだしを味見する児童

中学生が児童福祉を学ぶ

加茂中学校「赤ちゃん登校日」

11月6日、加茂中学校2年生の児童福祉学習の一環で「赤ちゃん登校日」を実施し、5組の親子をはじめ、母子保健推進員、子育て支援センター職員などを招き、赤ちゃんとのふれあい体験を行いました。

生徒たちは、保護者や専門家に教えてもらいながら抱っこしたりあやしたりしました。保護者からその子の好きな遊びやおもちゃを聞きながら、少しずつ慣れていく、最後は抱っここの順番待ちをするほどでした。ふれあいの後は、市の保健師から「児童福祉と子どもの権利」と題した講話を聴きました。



▲赤ちゃんを抱っこする生徒

第10回尾原ダムさくらおろち湖湖上花火開催

11月8日、尾原ダムさくらおろち湖湖上花火が、「さくらおろち湖で花火打ち揚げ隊」（隊長 亀山幹生さん）の主催により、さくらおろち湖周辺で開催され、市内外より多くのお客さんが訪れました。

花火の最後には、例年どおりヤマタノオロチをイメージした花火が打ち上げられ、今年はさらに、舌を出したヤマタノオロチの姿が表現されました。花火は湖面を彩り、お客様からは歓声や「きれい」といった声が上がっていました。当日は、音楽イベントなど複数のイベントも同時開催され、会場は一日中にぎわいました。



▲さくらおろち湖の湖上を彩る花火

水道管の凍結 破裂を防ごう

水道管は気温がマイナス4度以下になると凍結しやすくなります。風が強いときや真冬日が続くときは、気温がマイナス4度以下でなくても水道管が凍結し、水が出にくくなったり、水道管が破裂したりすることがあります。

特に、屋外で水道管が露出している部分や給湯器などの凍結・破裂が起こりやすくなっています。寒波の到来に備えて家の周りの水道管を点検し、早めに対策をしましょう。

凍らないようにするために

- 露出した水道管は、保温材で覆い、ビニールテープを巻いてください(保温材はホームセンターなどで販売されています)。
- 屋外の蛇口は特に凍りやすいので毛布や布などで覆い、その上からビニール袋をかぶせてテープを巻いてください(毛布や布がぬれると逆効果になるので注意してください)。
- 長らく家を留守にする場合は、水道メーター横の止水栓を閉めるか、上下水道局に使用中止の連絡をしてください。



水道管が凍結・破裂したら

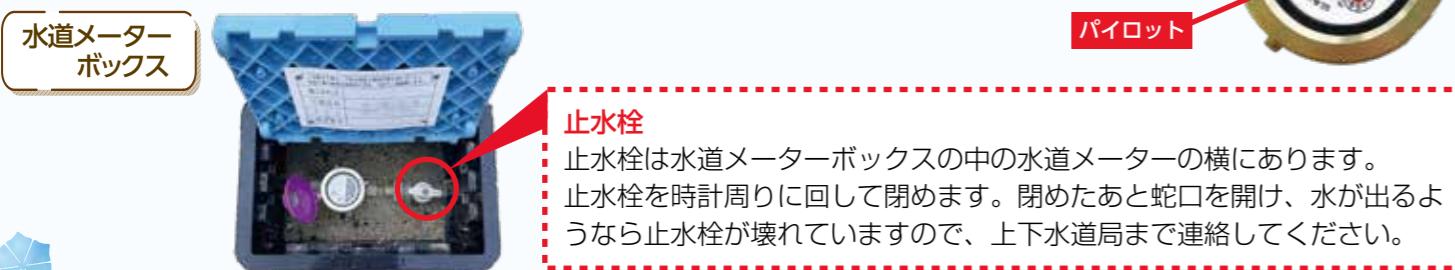
- 水道管が凍結したときは、凍った部分にタオルをかぶせ、その上からぬるま湯をゆっくりかけてください。直接熱湯をかけると破裂する恐れがあります。
- 水道管が破裂したときは、応急措置として、まず水道メーター横の止水栓を閉めて、**指定給水装置工事事業者**(※)に修理を依頼してください。



宅内漏水の確認方法

- ①蛇口を全て閉めてください。→ ②水道メーターのパイロットを確認してください。→ ③パイロットが少しでも動いていたら漏水しています。

止水栓を閉め、**指定給水装置工事事業者**(※)に修理を依頼してください。



(※) 指定給水装置工事事業者について

宅内の水道管など(給水装置)の修理は、雲南市の指定給水装置工事事業者に依頼してください。指定給水装置工事事業者の一覧は市ホームページに掲載していますのでご確認ください。不明な場合は上下水道局に問い合わせください。



冬季の水道メーター検針へのご協力のお願い

普段からメーターボックスの上には物などを置かないようにしてください。
積雪時にはメーターボックス付近の除雪にご協力いただきますようお願いします。

【問】 営業課 TEL 0854-42-5322

うんなん日和



地域と行政の協働による防災訓練 避難訓練並びに避難所体験研修会

11月30日、地域自主組織「加茂まちづくり協議会」と雲南市の共催で、加茂小学校を会場に「避難訓練並びに避難所体験研修会」が開催され、約200人が参加しました。

昨年度、指定避難所「加茂小学校」の避難所運営マニュアルが策定されたため、その内容を検証し、避難を円滑に行えるようになることが目的です。受付、誘導、救援物資の搬入訓練をはじめ、災害用トイレやベッド、非常食や防災グッズの展示などもあり、参加者は災害に備えた幅広い訓練や研修を行うことができました。



▲加茂小学校体育館での訓練の様子

島根県農業協同組合雲南地区本部・雲南市 災害時における物資調達及び施設使用等に関する協定書締結式

12月3日、島根県農業協同組合雲南地区本部と雲南市との間で「災害時における物資調達及び施設使用等に関する協定書」を締結しました。

本協定は、災害時に必要となる食料品や日用品などの物資調達や、倉庫などの施設使用等の応急対策を迅速に実施できるようにすることが目的です。締結に際し雲南地区本部の源 之美常務理事本部長から「この協定により、施設などを可能な限り有効活用し、少しでも早く市民の生活が安定し、平時に戻ることができるようにならう」とあいさつがありました。



▲協定書締結式の様子

雲南市人権問題を考える市民の集い

うんなんヒューマンライツ・フェスタ2025

12月6日、うんなんヒューマンライツ・フェスタ2025を三刀屋交流センターで開催し、約80人が参加しました。

「高校生ボランティアアワード2025」特別賞を受賞した三刀屋高校JRC部による取り組み発表、「少年の主張島根県大会」最優秀賞を受賞した三刀屋中学校1年生 森脇歩花さんの弁論発表のほか、「PIECE of PEACE 島根教師の会」代表世話人の須田英典さんが「平和と戦い 平和にうち勝って 手に入れるもの」と題して講演を行いました。また、マルシェリーズでは作品・啓発展示も行いました。



▲講演をする須田さん

社会福祉チャリティー 第19回雲南市民歳末余芸大会

12月7日、第19回雲南市民歳末余芸大会を三刀屋文化体育館アスパルで開催し、約1,000人が来場しました。

17組の団体・個人が歌や踊りなどを披露したほか、お楽しみ抽選会も行われ、観客を楽しませました。特別出演として、三刀屋高校JRC部が「神楽でつながる地域の絆と防災力」と題して災害から身を守るさまざまな技術や防災紙芝居を発表し、続けて石飛市長によるウクレレの弾き語りが披露されました。なお、この大会の収益金は、市内の社会福祉事業に活用されます。



▲三刀屋保育所の園児による太鼓演奏

家族が認知症になつたら～家族も自分も大切に～

認知症看護認定看護師 山田 美保



「認知症」とは、さまざまな病気により、脳の神経細胞の働きが徐々に変化し、認知機能（記憶、判断力など）が低下して、社会生活に支障を来たした状態をいいます。我が国では高齢化の進展とともに、認知症と診断される方も増加しています。65歳以上の高齢者を対象にした令和4年度（2022年度）の調査の推計では、認知症の方の割合は約12%、認知症の前段階と考えられている軽度認知障害（MCI*）の方の割合は約16%とされ、両方を合わせると、3人に1人が認知機能に関わる症状があることになります。なお、軽度認知障害の方全てが認知症になるわけではありません。

* MCI = Mild Cognitive Impairment

記憶障害などの軽度の認知機能の障害が認められるが、日常生活にはあまり支障がないため、認知症とは診断されない状態。MCIの方のうち年間で10%から15%が認知症に移行するとされている。

出典：政府広報オンライン「知っておきたい認知症の基本」<https://www.govonline.go.jp/article/202501/entry-7013.html>



認知症になると、何もできなくなるわけではありません。時間はかかっても自分でできることもあります。症状の進行を抑えるためにも自分でできることは自分でもらうことも大切です。また認知症になっても普通の人と同じように尊重されたい、元気であれば働きたい、ボランティア活動にも参加したいと思う方も少なくありません。得意だった趣味や家事、仕事のことで相談されるなど、人から頼りにされるだけで、生き生きされることもあります。また笑顔で良い感情が残るように接することも大事です。

日々一緒にいる時間が多いと、同じことを聞かれたり、時には犯人呼ばわりされたりすることもあり、家族も精神的に追い込まれてしまうかもしれません。そのようなときは、無理せずに周囲に助けを求める必要です。症状の強弱が「より身近な人に対して、より強く出る」ということがあります。毎日付きっきりで介護してくれる人に一番強い症状を示し、時々しか会わない人の前では案外しつかりしているのが特徴です。裏を返せば、一番安心できる人だから、言いた

い放題になつてしまうのかもしれません。

介護はゴールが分からぬいため、いつまでこの状態が続くのだろうかと不安や負担が大きいと感じるかもしれません。まず介護者自身の身体的・精神的・社会的（家庭的）健康が、なによりも大切な基本です。困ったときは、勇気を出して誰かに相談してみることも必要です。一人で抱え込まずに、周囲に協力を求めてください。介護する家族も自分を労わることが必要です。認知症の方のペースを尊重し、失敗を責めずに本人の尊厳を保つことが認知症ケアには大切と言われています。お互い笑顔で心地よい時間を過ごせるよう、周囲の協力も必要です。

認知症についての正しい知識を持ち、助け合える環境をつくっていけるよう、私も微力ながら地域への普及活動を行っていきたいと考えています。院内にいますので、認知症でお困りのことなどありましたら、気軽に声を掛けていただけると嬉しいです。認知症になつても安心して住める地域を一緒につくっていきましょう。

「公益社団法人 認知症の人と家族の会」が、チェックシート「家族がつくった『認知症』早期発見のめやす」を作成していますので、ホームページからご確認ください。<https://www.alzheimer.or.jp/>

新年のごあいさつ



病院事業管理者

大 谷 たに 順 じゅん

雲南病院だより



院長

西

英

明

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、清々しい新春をお迎えのこととお慶びを申し上げます。新しい年の幕開けにあたり、まずお詫び申し上げます。昨年は、一部職員による不祥事で多大なるご心配をおかけいたしました。また、公立病院の構造的な経営不振につきましても、ご不安心を生じさせていること、重ねてお詫び申し上げます。寄せられている信頼の重みを胸に深く刻み、信頼回復に全力を尽くす所存です。さて、今年の干支は丙午（ひのえうま）です。「丙」の炎のように勢いがあり、物事が大きく動き成就する年、また、古い価値観がリセットされ、新しい循環が始まる年ともされていま

す。そこで当院は、丙午の勢いも借りて以下の取り組みを行います。まず、不祥事を受け、倫理観の醸成に努めます。また、デジタル技術を活用したりスクリーニング（学び直し）も推進し、業務効率を改善します。地域で求められる急性期医療に注力し、八イケアユニット（高度治療室）を新設します。そして、皆様が病気を乗り越えた後、昨年申し上げた「よい塩梅な生活」に戻れるよう、多職種連携や在宅医療支援を強化します。これらは地域包括ケアシステム、病院組織として大いなる「変革」と「再生」を期し、真に信頼される医療を提供し続けます。

今年の干支が示すように、当院は、組織として大いなる「変革」と「再生」を期し、真に信頼される医療を提供し続けます。本年が、皆様にとって、健康と喜びに満ちた、実りある一年となります。心よりお祈り申し上げます。

昨年11月7日に雲南市役所で、第3回母子健康推進ネットワーク懇話会が開催されました。この懇話会は、働く世代・子育て世代の運動器の健康を支援する環境整備のため、専門家との意見交換の場として開催されました。まず全国の子

新年あけましておめでとうございます。本年が皆様にとって、良い年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

令和8年の干支は「丙午（ひのえうま）」です。根

も葉もない迷信の影響で、

過去の丙午には、出産を控

るのでしょうか。言うまでもなく、「子は国の宝」です。

丙午も減少しました。今年の「令和の丙午」はどうな

るのでしょうか。言うまでもなく、「子は国の宝」です。

丙午の迷信などものと

わが雲南市立病院は、雲

南圏域で唯一の産婦人科医

が常勤の、お産のできる病

院です。昨今の産婦人科医

不足の影響で、当院の出産

数維持も厳しい状況にあり

ますが、何とか現状維持、

できれば増員を図り、周産

期医療を充実させたいと考

えて、ます。さらに雲南市と

協力して、子育て支援事業

にも積極的に参画してま

ります。

今年この雲南圏域で、一人でも多くの赤ちゃんが生まれ、元気に育つてくれる事を祈念しております。今年も雲南市立病院を宜しくお

願いたします。

市報うんなん 2026.1



第2回 地域の皆さんと 健康を語り合いました

まちづくり工房うんなんでは、病院と地域をつなぎ、住民が安心して暮らせるまちをつくるための活動を続けています。11月26日には、三刀屋交流センターで住民の皆さんと雲南市立病院や平成記念病院スタッフが直接語り合う会を開催しました。これまで病院は“来てもらう場所”という印象が強くありましたが、今回は医師や看護師が地域に出向き、住民の声を聞くことを目的とした新しい取り組みとなりました。

交流会では、普段なかなか相談できない健康の不安や、生活の中で感じている心配事が自然と語られました。一人暮らしの心細さや、難聴や認知症への不安、サプリメントに関する疑問など、生活に密着した切実な思いが次々と伝えられました。参加した高齢の方々は、「病院の方が地域に来てくれるだけで安心する」と話し、これまでの“病院は遠い存在”という感覚が少しづつ変わっていく様子が感じられました。

医師や看護師は、その場で住民の問い合わせに丁寧に答えながら、病院として改善できる点は持ち帰って早急に対応する姿勢を示しました。特に、病院での名前呼びに関する抵抗感や、接遇への希望は重要な意見として受け止められ、地域の声が医療現場を変えるきっかけになることを実感しました。

話題は健康だけでなく、公共交通の情報が届き

にくい現状など、生活全体に関わる課題にも広がりました。病院単独で解決できることばかりではありませんが、住民が抱える不便や不安を医療者が共有することで、地域と病院が同じ方向を向き始める重要な一步となりました。

今回の交流会を通じて、住民の声は医療を支える大切な資源であり、病院は地域に寄り添う形で変わっていくことを改めて感じました。さらに、平成記念病院と雲南市立病院の職員が同じ場所で対話する機会を持つことによって、雲南市での多職種連携がさらに深まる可能性を感じました。

まちづくり工房うんなんは、これからも病院と地域の距離を縮め、共に安心して暮らせるまちをつくりていきます。



交流会の様子

職員を募集しています!

正規職員

職種：薬剤師、看護師、助産師

会計年度任用職員

職種：看護師（勤務時間は相談可）



詳細はホームページ (<https://unnan-hp.jp>) をご確認いただくか
総務課まで問い合わせください。

【問い合わせ先】雲南市立病院 総務課 Tel0854-47-7532（直通）

フォーカス FOCUS

病院では毎年さまざまな職種のスタッフが入職し、働いています。これからたくさんの知識と経験を積み、雲南市立病院というステージで患者さんのために活躍していく新入職員にフォーカスし、それぞれの担当業務や仕事への思いなどを紹介します。

検査技術科 臨床検査技師

白根 里沙子



新入職員紹介

「縁の下の力持ち 患者さんの気持ちに
寄り添える検査技師をめざして」

臨床検査技師をめざしたきっかけは？

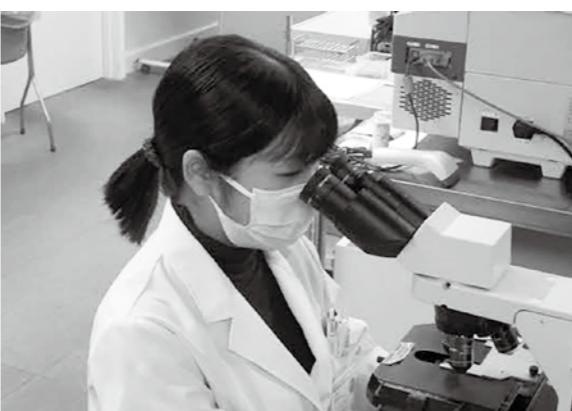
医療職に就きたいと漠然と考えていました。進路決定の時期に病気の早期発見や、予防医療に貢献できる臨床検査技師という職業を知り、人の役に立ちたいと思い、めざしました。

雲南市立病院の魅力はなんだと思いますか？

雲南圏域の中核病院として、複数診療科によるより専門的な医療を受けられるところが魅力だと思います。また、部署間での連携がとれており、患者さん一人ひとりに対応した医療の提供ができているところだと思います。

仕事には慣れましたか？

入職して8カ月があっという間に過ぎました。先輩方に教えていただきながら少しづつ慣れてきた部分もありますが、分からぬことも多く日々勉強の毎日です。これからできる業務を増やしていくよう頑張っていきます。



顕微鏡による細胞の観察

職場の雰囲気はですか？

皆さん優しく、分からないことを気軽に相談できる環境で、働きやすいです。困ったことがある時は、すぐに対応してくださるので、安心して働くことができます。

仕事をするうえで嬉しかったことはありますか？

新たな知識や技術を習得できた時です。習得できることを日々の業務で生かし、仕事の幅を広げられると、自分の成長を感じられるので、嬉しく感じます。

今後の目標を教えてください

検査結果を正確かつ迅速に報告することはもちろんですが、安心して検査を受けられるよう、患者さん一人ひとりに寄り添った声掛けや対応ができる臨床検査技師になりたいです。また、少しでも検査への不安を取り除けるよう丁寧な説明を心掛けたいです。

私のとある一日

8:30 出勤
検体業務、採血

12:00 休憩

13:00 検体業務
機器メンテナンス

17:15 退勤

市内の
チャレンジを
応援して
ください!!

大学生の主体的な学びとチャレンジを応援！

U.C.Cゼミ、U.C.Cインターンを開催しました！

雲南で「やりたい」を実践！ U.C.Cゼミ

7月8日～9月16日の間、自分の「やりたいこと」を実践するための計画の立て方を学ぶプランニング強化講座（全5回）に、全国各地から6人の学生が参加しました。

6人は講座や合宿のプログラムを通して、雲南市での課題解決のプランを作成し、最終報告会で発表しました。



▲合宿フィールドワーク先の舟木木工所：
舟木 清さん（加茂町）の話を聞く参加者



▲フィールドワークの学びを振り返る参加者

【参加者の声】

自分の「やってみたい」に1歩踏み込むために手厚くサポートしていただき、本当に貴重な機会となりました。雲南市とのつながりを作れたことは、私にとって大きな財産です。

「働き」、「暮らす」でまだ見ぬ雲南を体感！ U.C.Cインターン

8月～9月の間、雲南市で暮らす・働くことを体験するインターンシップに、市内7カ所の事業所にご協力いただき、7人の学生が参加しました。学生たちは約1カ月のインターンを通じてそれぞれの事業所で取り組んだ成果を、最終報告会で発表しました。

【参加学生の声】

- 最終日に、「毎日来てくれてありがとう」とメッセージをいただきました。活動中は本当に役に立っているか不安でしたが、自分が誰かの力になっていたのを感じることができました。
- 雲南市で出会った人たちが皆さん良い方たちばかりでした。1カ月も住んだ土地だからこそ、これからも関わり続けたいと思いました。



▲受け入れ先の皆さんと集合写真



▲最終報告会の集合写真

【問】政策推進課 Tel 0854-40-1011

わが家のHOPE 1月で満1歳おめでとう



いしはら かなと
石原 奏杜ちゃん（大東町）
智紀さん・紗希子さんのお子さん
笑顔が素敵なかなとくん☆
1歳のお誕生日おめでとう！
これからも元気に大きくなってね♥



とや しゅうか
鳥谷 榮禾ちゃん（大東町）
真広さん・暢子さんのお子さん
しゅうちゃん、お誕生日おめでとう！
いつもにこにこ元気な姿を見せてくれて
ありがとうございます☆ 大好きだよ♥



なかやま いつき
中山 一楓ちゃん（三刀屋町）
琢己さん・のぞみさんのお子さん
いつも元気いっぱいのいつき君♥
これからもたくさん遊ぼうね✿
お誕生日おめでとう！

2月で満1歳（令和7年2月生まれ）のお子さんを募集！

写真に①お子さんの名前（ふりがな）、②お子さんの誕生日、③保護者の名前（ふりがな）、④保護者の名前の掲載希望の有無、⑤住所、⑥電話番号、⑦コメント（40字程度）を添え、E-Mailで**1月8日(木)**までに広報広聴課へ送付ください。

kouhoukouchou @ city.unnan.shimane.jp
(タイトルは「わが家のHOPE」としてください。)

※郵送希望の場合はお問い合わせください。

【問】広報広聴課 Tel 0854-40-1015

※スマートフォンで撮影される場合、顔のアップを撮影されると枠にきれいにおさまらないことがありますので注意ください。

※市ホームページおよび子育てポータルサイトにも「わが家のHOPE」を掲載します。

※お送りいただく個人情報は「わが家のHOPE」以外の目的には使用しません。

※郵便物またはメールが届きましたら、広報広聴課から「到着確認」の連絡をします。

投稿後、当課から連絡がないときは問い合わせください。

蔵書点検による臨時休館

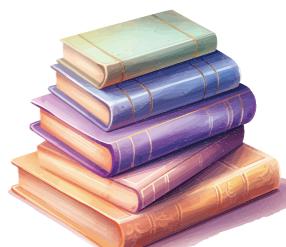
市立図書館では、3館で所蔵している約16万冊の資料の状態や並べている場所を確認・整理するため、下記の日程で臨時休館します。

また、この期間中に書棚や資料の移動なども行います。ご不便をお掛けしますが、ご協力よろしくお願いします。

【木次図書館】1月19日(月)～2月2日(月)

【大東図書館】2月1日(日)～2月15日(日)

【加茂図書館】2月3日(火)～2月20日(金)



休館期間中の本の返却は返却ポスト、開館している市立図書館、三刀屋・吉田・掛合町の総合センターや、加茂文化ホールラメール・木次経済文化会館チリヴァホール・三刀屋文化体育館アスパルの窓口にお願いします。

【問】木次図書館 Tel 0854-42-1021 Fax 0854-42-2274

大東図書館 Tel・Fax 0854-43-6131

加茂図書館 Tel 0854-49-8739 Fax 0854-49-8696

考えよう/
雲南市のがんばる
えすこな公共大通



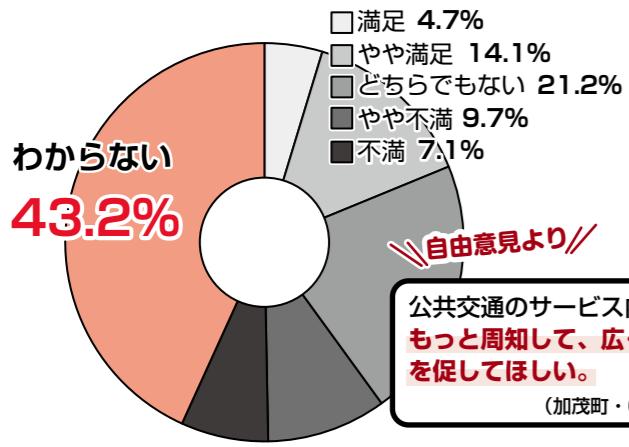
No.2

市民アンケート調査結果と見えてきた課題

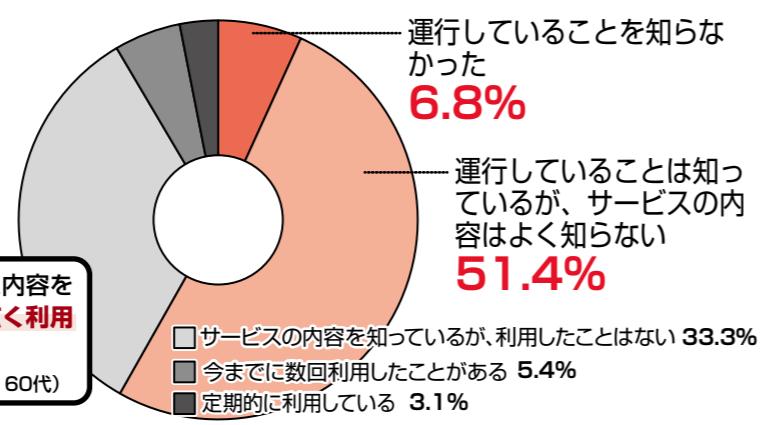
8月に、市民の皆さんのお移動実態や公共交通の利用状況などを伺うアンケート調査を実施しました。この調査結果は、今後5年間の公共交通のあり方を定める「地域公共交通計画」の策定に活用していきます。

アンケート調査の結果（一部抜粋）

Q 雲南市民バスの総合的な満足度について、あなたのお考えに最も近いものをお答えください。（回答者数：1,104人／単一回答）



Q だんだんタクシー・だんだんバスのサービスについて、あてはまるもの1つを選択してください。（回答者数：1,305人／単一回答）



調査結果から見えてきた課題（一部抜粋）

課題1

だんだんタクシーを活かして、誰もが使いやすいサービスにする

- 課題の背景 重要な移動手段である一方で認知度が低く、利用方法も分かりにくい状況にある。
- 必要な対応 サービスの仕組みや利用方法をより分かりやすいものに改善し、利便性と効率性の両面で、より使いやすい交通へと進化させる。

課題2

市民の暮らしと公共交通の「ズレ」を解消する

- 課題の背景 マイカーが中心の生活だが、「本当は運転したくない」人も存在している。
- 市民の「行きたい場所」、「行きたい時間」に公共交通が十分に対応できていない状況にある。
- 必要な対応 市民の多様なライフスタイルや、地域ごとの移動実態に合わせて、公共交通を再構築する。

課題3

公共交通を「他人ごと」から「自分ごと」へ変える

- 課題の背景 市民アンケートでは、バスやタクシーの満足度について半数以上が「わからない」と回答。
- 公共交通が「縁遠い存在」になっており、市の利用促進策も十分に認知されていない状況。
- 必要な対応 市民・事業者・行政が共に地域の交通を考える「場」と、情報を分かりやすく届け、誰もが主体的に関われる仕組みをつくる。



今回のアンケート調査は、市内全世帯から約3,000世帯を抽出して実施し、1,419件（回収率50.3%）の貴重なご意見をいただきました。

調査結果から、公共交通のサービスが十分に知られていないこと、市民の皆さんの暮らしと公共交通のサービスにズレがあることなど、さまざまな問題点・課題が明らかになりました。これらの課題を踏まえ、持続可能で、誰もが「えすこ」に暮らせる地域公共交通ネットワークの実現に向けて計画を策定していきます。

急募 市民バスの運転手を募集しています。少しでも関心のある方は、ぜひご連絡ください。

【問】交通政策室 TEL 0854-40-1014



雲南コミュニティ
ハイスクール
UCH!
高校生ニュース

このコーナーでは、日本一チャレンジに優しい教育環境で学ぶ市内高校生の姿を伝えています。今回は、雲南式探究プログラム*での高校生の姿をお知らせします。

*市内3高校で取り組む、自分を知り、地域（他者）から学び、社会（誰か）のために行動することを体感するプログラム

大東高校1年生74人と三刀屋高校1年生130人は、11月に市内で働く社会人の皆さん計28人を迎えて、多様な地域の大人の価値観に触れ、深く知ることを通じて、地域や多様性について考える「ゲストトーク」に臨みました。

高校生の声

- ゲストの方のお話を伺い、何事にもチャレンジすることの大切さを学びました。今後の学校生活や進路を考える際に生かしていきたいです。
- 「自分が楽しいと思える瞬間を大事にする」という言葉にとても共感しました。地域で活動されるゲストの姿を見て、私も誰かの力になれる人になりたいと思いました。

教員の声

- 多様な分野で活躍されているゲストの方々にご参加いただき、生徒はどのお話をても引き込まれていました。地域で活動する大人と直接対話できる機会は、生徒にとってさまざまな価値観に触れる貴重な時間になっています。挑戦を重ねてこられた経験や「まず一步踏み出そう」というメッセージは、生徒たちの背中を大きく押してくれていると感じています。

参加した社会人の声

- 高校生からいただいたメッセージカードに、大きな元気をもらいました。生徒の皆さんのがんばる姿を見てください、質問もたくさんいただけてとても嬉しかったです。
- 自分の経験が、生徒の皆さんこれからに少しでも役立てば幸いです。また、自分自身の人生を振り返る貴重な機会になりました。



▲高校生に思いを伝えるゲスト



▲高校生とゲストの対話の様子

国際交流員(CIR)スーキ・パチェコ・ジャン・ポールの異文化交流コーナー



第49話：秋景色の振り返り

少し遅れましたが、11月に「マイストーリーズ」が4周年を迎えました！

読んでいただけることにとても感謝しています。
今年もぜひよろしくお願ひいたします。

冬の寒さで家に引きこもりがちな僕は、秋を振り返りました。

最近、自然観察を趣味にしたいと思うようになり、天体観測や野鳥観察に出かけることが増えていました。年々、外に出て自然を感じたいという思いが強くなっています。去年の秋ごろ、カメラを持って、雲南の自然に触れてみました。

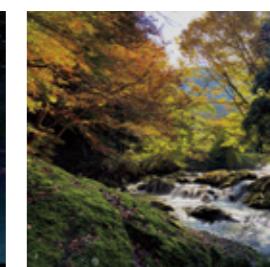
11月は紅葉の見頃で、以前から行きたかった八重滝の奥まで行くことができました。通訳の仕事で行きましたが、色とりどりの木々の中、ゆっくりと森林浴ができま

した。また、深夜の吉田町で、素敵な天体観測スポットを見つけました。真っ暗な駐車場に天体望遠鏡も立てられました。流れる雲に邪魔されながらも、天の川も250万光年離れた銀河・アンドロメダもカメラに写すことができました。

冬の寒さに負けず、自然に触れるができるように頑張りたいです。



天の川の右側に飛行機の軌跡も入ってしまいました。



八重滝は雲南を代表する紅葉スポットです。



八重滝の全体を見ることができて嬉しいです。
全画像：ジャンスーキ

おむつ代の医療費控除

◆申請場所・問い合わせ先

- ・長寿障がい福祉課
- ・総合センター市民福祉課
- ・市民サポート課

TEL 0854-40-1042

■申請に必要なもの

- ・介護保険被保険者証
- ・性の発生もしくは発生可能
- ・長寿障がい福祉課
- ・総合センター市民福祉課
- ・市民サポート課

◆申請場所・問い合わせ先

おむつ代の医療費控除

【問い合わせ・申込先】

8時30分から17時15分まで
(土・日・祝日を除く)

TEL 0854-47-7151

【問い合わせ先】

（公財）島根県育英会

県育英会

3月31日(火)まで

【願書提出先】

在学する高校または出身高校、大学などの在学者は島根

書の「認知症高齢者の日常生活自立度」がⅣ、Mのいずれかである方

②介護度が要介護3から要介護5までの方で主治医意見書の「障害高齢者の日常生活自立度」がB1、B2、C1、C2のいずれかである方

◆申請の際に必要なもの

- ・介護保険被保険者証、身体障害者手帳（お持ちの方）
- ・1級か2級のいずれかの身体障害者手帳をお持ちの方は、「特別障害者控除」を受けることができますので、この認定申請は必要ありません。
- ◆3級から6級までの身体障害者手帳をお持ちの方は、「障害者控除」を受けることができますが、要介護認定状況により「特別障害者控除」に該当する場合もあります。

◆申請の際に必要なもの

- ・介護保険被保険者証、身体障害者手帳（お持ちの方）
- ・1級か2級のいずれかの身体障害者手帳をお持ちの方は、「特別障害者控除」を受けることができますので、この認定申請は必要ありません。
- ◆3級から6級までの身体障害者手帳をお持ちの方は、「障害者控除」を受けることができますが、要介護認定状況により「特別障害者控除」に該当する場合もあります。

◆申請場所・問い合わせ先

おむつ代の医療費控除

【問い合わせ・申込先】

8時30分から17時15分まで
(土・日・祝日を除く)

TEL 0854-47-7151

【問い合わせ先】

（公財）島根県育英会

県育英会

3月31日(火)まで

【願書提出先】

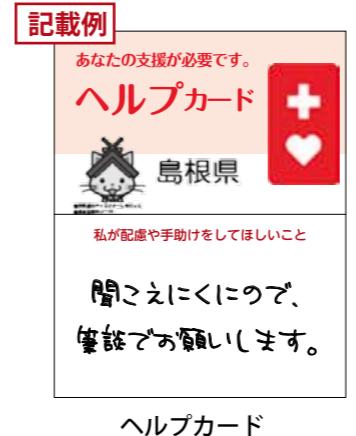
在学する高校または出身高校、大学などの在学者は島根

子育て・保健・福祉

ヘルプマーク・ヘルプカードを知っていますか？

ヘルプマーク・ヘルプカードは、内部障がいや難病の方、妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としていることが外見からは分かりにくい方が身に付けることで、周囲に援助や配慮が必要であることを知らせるためのマークです。ヘルプマーク・ヘルプカードには、配慮してほしいこと、手助けしてほしいことを記入し、支援者に提示して知らせることができます。

外見からは分からなくても援助が必要な方がいます。



ヘルプマーク・ヘルプカードの入手方法

長寿障がい福祉課か総合センター市民福祉課・市民サポート課のいずれかにお越しください。

ヘルプマークは、申請書提出後にその場でお渡しできます。手帳などの提示は必要ありません。

ヘルプカードは申請不要です。窓口に置いてあるものをご自由にお持ち帰りください。

ヘルプマーク・ヘルプカード（島根県ホームページより）

ヘルプマーク・ヘルプカードを見かけた方へのお願い

- 公共交通機関では、席をお譲りください。
外見では健康に見えても、疲れやすい方や、つり革につかり続けるなどの同じ姿勢を保つことが困難な方がいます。
- 駅や商業施設などで、声を掛けるなどの配慮をお願いします。
交通機関の事故など、突然の出来事に対して臨機応変に対応することが困難な方や、立ち上がる、歩く、階段の昇降などの動作が困難な方がいます。
- マークなどに記載された内容に従って配慮・支援をお願いします。
マークなどには「アレルギーの内容」、「ゆっくり話してほしい」、「体調の急変時には病院に連絡してほしい」等、マークなどを見た方に希望する配慮・援助の内容が記載されています。
- 災害時は、安全に避難するための支援をお願いします。
視覚障がい者や聴覚障がい者などの状況把握が難しい方、知的障がい者や精神障がい者などで状況判断が難しい方、パニックになってしまう方など自力での迅速な避難が困難な方がいます。

【問】長寿障がい福祉課 TEL 0854-40-1042

■認定の基準

所得税法や地方税法に基づき、次の基準により「障害者控除」か「特別障害者控除」のいずれかの対象者であることを認定し、認定書を発行しますので、確定申告の際に提示してください。

※要介護認定を受けた方が令和7年中途で死亡された場合は、死亡日時点での要介護認定状況により判定します。

■認定の基準

介護度が要介護1から要介護5までの方で介護保険の要介護認定に係る主治医意見書の「認知症高齢者の日常生活自立度」がIIa、IIb、IIIa、IIIbのいずれかである方

■「障害者控除」の対象者

介護度が要介護1から要介護5までの方で主治医意見書の「認知症高齢者の日常生活自立度」がIIa、IIb、IIIa、IIIbのいずれかである方

■「特別障害者控除」の対象者

介護度が要介護1から要介護5までの方で主治医意見書の「認知症高齢者の日常生活自立度」がIIa、IIb、IIIa、IIIbのいずれかである方

31日現在の認定状況により、所得税法や地方税法上の障害者控除を受けられる場合があります。



島根県
ホームページ

要介護認定者の障害者控除認定書の発行

長寿障がい福祉課

TEL 0854-40-1042

介護保険の要介護認定を受けている方は、令和7年12月31日現在の認定状況により、所得税法や地方税法上の障害者控除を受けられる場合があります。

図書館だより

市立図書室の利用案内

三刀屋図書室（永井隆記念館内）
電話：0854-45-2239
開館時間：9:00～17:00
年始休館：～1月4日（日）
休館日：毎週月曜日（12日を除く）、13日（火）、14日（水）

吉田図書室（吉田交流センター内）
電話：0854-74-0219
開館時間：8:30～17:00
年始休館：～1月4日（日）
休館日：毎週土・日曜日、祝日

掛合図書センター“陽だまり館”
(掛合交流センター内)
電話：0854-62-0189
開館時間：火・金曜日 8:30～18:00
水・木・土曜日 8:30～17:00
年始休館：～1月5日（月）
休館日：毎週日・月曜日、祝日

市立図書館の利用案内

木次図書館 TEL0854-42-1021 開館時間：10:00～18:00

1月の休館日 毎週月曜日、年始休館：1日（木・祝）～3日（土）、臨時休館：11日（日）
振替休館日：13日（火）、特別整理休館（蔵書点検）：19日（月）～2月2日（月）

イベント案内 ☆よみかたりのじかん 10日（土）10:30～11:10

大東図書館 TEL0854-43-6131 開館時間：10:00～18:00

1月の休館日 毎週金曜日、年始休館：1日（木・祝）～3日（土）、臨時休館：11日（日）、12日（月・祝）
図書整理日：31日（土）

イベント案内 ☆住まいと終活おはなし会 10日（土）14:00～15:30
☆こぐまちゃんくらぶ（わらべうた遊びの会 対象：乳幼児とその家族）
19日（月）10:30～（30分程度）（※要申し込み）

*毎週月曜日午前中（10:00～12:00）は「いいよのじかん」です。

加茂図書館 TEL0854-49-8739 開館時間：10:00～18:00

1月の休館日 毎週木曜日、年始休館：1日（木・祝）～3日（土）、臨時休館：11日（日）、
12日（月・祝） 図書整理日：31日（土）

新着の本（抄） 市内図書館どこでも借りることができます。貸し出し中の場合は予約（取り寄せ含む）ができます。各館へ問い合わせください。本の検索には、上記二次元コードの市立図書館ホームページ《蔵書検索》を利用してください。



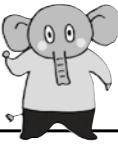
市立図書館
ホームページ



市立図書館
Facebook

内藤芳文「鉄師田部家の経営覚書」▼雨穴「変な地図」▼小川哲「火星の女王」▼伊坂幸太郎「さよならジャバウォック」▼中山七里「とどけチャイコフスキー」▼森絵都「デモクラシーのいろは」▼久坂部羊「命の横どり」▼窪美澄「宇宙のハレルヤ」▼月村了衛「地上の楽園」▼中村文則「彼の左手は蛇」▼町田そのこ「彼女たちは楽園で遊ぶ」▼額賀瀧「さよならの保険金」▼中島京子「水は動かず芹の中」▼浜口倫太郎「天空遊園地まほろば」▼伏尾美紀「百年の時効」▼城戸川りょう「高宮麻綾の退職願」▼雲井脩介「犯人に告ぐ④」▼富山健司「新本所おけら長屋④」▼東野圭吾作家生活40周年実行委員会編「東野圭吾公式ガイド」▼垣谷美雨「いまだ悪戦苦闘中」▼杉子女王（三笠宮彬子）「飼い犬に腹を噛まれる」▼群ようこ「ちゃぶ台ぐるぐる」▼林真理子「わかります？」▼俵万智「生きる言葉」▼高良真実「みんなの近代短歌」▼小泉凡「小泉八雲の妖怪図鑑」▼池田雅之監修「小泉セツ」▼石原伸晃「ほか」「石原家の兄弟」▼田中慶子「言葉にすれば願いは叶う」▼頼藤太希、高山一恵共著「50代から考えるお金の減らし方」▼鎌田實、荻原博子「お金が貯まる健康習慣」▼月居良子「いつでも着たいはおりもの」▼たかぎなおこ「お弁当デイズ フダン弁当、ハレの日弁当」▼福田淳子「だけ！おやつ」▼菅原洋平「『謎に眠い』と解きほぐす」▼平井美津子「私のからだは私のもの」▼矢部太郎「ご自愛さん」▼光浦靖子「ようやく力レッジに行きまして」▼大塚篤司「最新医学でわかったシミ・シワの『消し方』」▼松井孝監修「はじめての盆栽づくり」

くらしの消費生活窓口



島根県消費者センター
マスコットキャラクター
だまされないじゅくん

「見守り」と「気付き」で高齢者の被害を防ごう

見守りと気付きのポイント

居室・居宅の様子

- 不審な契約書や請求書、宅配業者からの不在通知はないか。
- 不審な健康食品、魚介類などはないか。
- 新品の布団など、同じような商品が大量にならないか。
- 屋根や外壁などに不審な工事の形跡が見られないか。
- 複数社から配達された新聞や景品類はないか。
- 居宅が不自然に散らかっていないか。
- 不審な業者が出入りしている形跡はないか。



本人の言動や態度など

- 不審な電話やメールのやり取りなどはないか。
- お金に困っている様子はないか。
- 預金通帳など不審な出金の記録はないか。
- 何を買ったか覚えていないなど、判断能力に不安はないか。
- 元気がないなど困った様子はないか。

ひとこと助言

- 「知らない電話には出ない」、「その場で契約せず家族や周囲に相談する」などの対応策も伝えましょう。
- 地域の見守り活動や留守番電話機能なども活用しましょう。

○困ったとき、心配なときは、一人で悩まずに、すぐに雲南市消費生活センターなど（消費者ホットラインは局番なしの188）に相談してください。

【相談・問・出前講座依頼先】雲南市消費生活センター TEL 0854-40-1123 FAX 0854-40-1039

毎月第3日曜日は

うんなん家庭の日

家族で取り組める活動を市公式の
Facebook、LINEアカウントで配信中！

1月18日（日）

社会教育課 TEL0854-40-1073

塩分をひかえるコツ うんなん愛の減塩プロジェクト

麺類の汁やスープを残す

汁やスープは最後まで飲み切らないようにしましょう。全部残せば2～3g減塩できます。



【問】健康推進課 Tel0854-40-1045

INFORMATION

令和8年 雲南市消防出初式

と き 1月11日(日)

9:30～ 式典

11:00～ 一斉放水（三刀屋川河川敷）

と こ ろ 三刀屋文化体育館アスパル

【問】くらし安全室 Tel0854-40-1027



第19回 雲南神楽フェスティバル

(第11回出雲の國伝統芸能交流大会)

と き 1月25日(日)

開演10:20（開場9:50）～16:15（予定）

と こ ろ 木次経済文化会館チェリヴァホール

入場料 前売券1,000円、当日券1,300円（全席自由・税込）
※高校生以下無料、障がい者割引：100円（本人＋介添1人）

【入場券取扱所】

木次経済文化会館チェリヴァホール、三刀屋文化体育館アスパル、古代鉄歌謡館、うんなん観光案内所（観光振興課）、島根県民会館（松江市）、出雲市民会館（出雲市）など

プログラム

時間	演目	団体名
10:20～	おおやしろ 大社	海潮山王寺神楽社中
10:55～	やま かみ 山の神	からかわ 唐川自治会 唐川神楽 (出雲市)
11:30～	八 戸	深野神楽保存会
12:10～		休憩
13:00～	ひびき たたらの響 ほか2曲	にたのほのあだいこ 仁多乃炎太鼓 (奥出雲町)
13:35～	やまとだけ 日本武	小河内神楽社中
14:10～	あくぎ 悪切り	しきなみかぐらだん 敷波神楽団 (飯南町)
14:45～	くにゆずり 国 譲	南加茂貴船神楽社中
15:30～	ひ かわおろち 簸の川大蛇	西日登神楽社中

※上演演目・団体・時間については変更する可能性があります。

【問】観光振興課 Tel0854-40-1054

「中世雲南市域関係史料集」刊行記念講演会

雲南市域に関する中世の文字資料を編纂した「中世雲南市域関係史料集」を1月31日に刊行します。これを記念して、雲南市の中世史にスポットを当て、史料から新たに分かったことや、なぜ史料集を刊行するのか、その意義についてお話しやすく講演会を開催します。

と き 1月31日(土) 13:30～16:00

と こ ろ 木次経済文化会館チェリヴァホール

演題・講師

- ①『「中世雲南市域関係史料集」刊行の意義と重要性』
井上 寛司さん（島根大学名誉教授）
- ②「尼子氏再興戦にみる山間地域の交通」
目次 謙一さん（島根県立古代出雲歴史博物館学芸情報課長）

参加費 無料（参加申し込み不要）

その他 会場で史料集を販売します。

1冊5,000円（税込み）

【問】文化財課 Tel0854-40-1075

●市報うんなん No.254 2026年1月発行

発行・編集／雲南市役所 政策企画部 広報広聴課

〒699-1392 雲南市木次町里方521-1

Tel 0854-40-1015 Fax 0854-40-1029

E-mail unnan-city@city.unnan.shimane.jp

市報うんなんに対するご意見、ご感想をお寄せください。

人 口… 33,871人（-45人）

男 性… 16,436人（-16人）

女 性… 17,435人（-29人）

世帯数… 13,579世帯（+2世帯）

令和7年12月1日現在（先月比）



この印刷物は環境に配慮し、大豆油にかわり米ぬか油を使用したライスインキで印刷しています。